

第8回全国銃剣道指導者研修会 開催要項
《国庫補助事業》

- 1 趣 旨 全国で銃剣道を指導する中学、高等学校の教員、及び社会体育指導者を対象に、我が国の伝統と文化に立脚した理論と実技の研修会を実施し、「銃剣道」の理解を深め、専門的な知識・技術・指導法の充実を図り、もって全国的な銃剣道指導者の養成と資質向上に寄与することを目的とする。
- 2 名 称 第8回全国銃剣道指導者研修会
- 3 主 催 公益財団法人日本武道館、公益社団法人全日本銃剣道連盟
- 4 後 援 スポーツ庁
- 5 期 間 令和3年11月12日（金）～14日（日）
- 6 場 所 日本武道館研修センター（千葉県勝浦市沢倉 582）
- 7 参加資格 (1) 中学校・高等学校の教員。
(2) 各都道府県銃剣道連盟から推薦された部活動指導者、外部指導者。
(3) 全日本銃剣道連盟が承認した者。
※上記(1)(2)(3)のいずれかの条件を満たした者。
※基礎疾患を有している者は、あらかじめ主治医の了解を得ること。
- 8 募集人数 30名
- 9 申 込 先 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-8-2 九段丸石ビル4階
公益社団法人全日本銃剣道連盟 宛
- 10 締 切 令和3年9月24日（金）
- 11 参加者補助 (1) 参加費は無料とする。
(2) 日本武道館が定める往復交通費及び宿泊費（食事付）を補助する（ただし、所属団体等より往復交通費の補助を受けている参加者には補助しない。申込書に記入のこと）。
(3) 宿泊費は主催者が負担する。
- 12 所 持 品 マスク、室内履き（スリッパ）、体温計、木銃、銃剣道衣、袴、銃剣道用具一式、運動靴、トレーニングウェア、洗面具、筆記具、健康保険証。
※未経験者については、トレーニングウェアでの参加を認め、木銃は主催者が貸出する（申込書に記入のこと）。

- 13 研修計画 別紙「日程表」により実施し、参加者には主催者より修了証を授与する。
- 14 連絡事項 (1) 航空券・旅券の手配は、10月15日(金)に送信する「参加確定通知書」のメール受信後、手配すること。
(2) 本研修会が開催中止となった際には、申込書記載のメールアドレスにて通知する。なお、10月15日(金)以前に購入した航空券・旅券についてのキャンセル料は、主催者は負担しない。
(3) 宿泊は1人1部屋とするが、風呂・トイレは共用である。
(4) 参加者は1週間前からの健康調査票を提出する。研修会終了後2週間以内は健康調査を継続し、変化のある時は主催者に直ちに報告すること。
- 15 その他 参加者には日本武道協議会設立40周年記念『中学校武道必修化指導書(DVD3巻付)』(武道編・銃剣道編)、『銃剣道安全ガイドブック』を無償配布する。

- 【問い合わせ先】
- ◎研修内容・日程・申込書提出について
公益社団法人全日本銃剣道連盟
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2 九段丸石ビル4F
TEL 03-6910-0707 FAX 6910-0708 (土・日・祝日を除く)
- ◎会場・宿舍・旅費について
公益財団法人日本武道館 振興部振興課
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5134 FAX 03-3216-5117 (土・日・祝日を除く)

第8回全国銃剣道指導者研修会 日程表

日付		11月12日（金）	11月13日（土）	11月14日（日）	
時間	午前		6:00	6:00	
				起床	起床
				6:30	6:30
				自由稽古	自由稽古
				7:30	7:30
				朝食・準備	朝食・準備
			9:00	9:00	
			中学校 必修化対応 高校 部活動 【大道場】	講義 『全日本銃剣道連盟における 必修化への対応と取組』 講師：鈴木 健 【第一研修室】	
				10:30	
				閉講式	
				11:00	
				解散	
		12:00	12:00		
		昼食	勝浦駅発上り特急 12：07発 14：35発		
午後		13:00	13:00		
		受付	休憩		
		13:50	13:30		
		記念撮影			
		14:00			
		開講式			
		14:30			
		『中学校武道必修化指導書』 武道編DVD視聴			
		15:00			
		講演 調整中 特別講師：田中裕之 【第一研修室】	中学校 必修化対応 高校 部活動 【大道場】		
		16:30			
		休憩			
	16:45				
	学校授業における 銃剣道体験授業指導法 【第一研修室】	17:30			
		情報交換会（分科会） 【第一研修室・大道場】			
	18:30				
	入浴・夕食	19:00			
		入浴・夕食			

※都合により日程・時間を変更する場合があります。

第8回全国銃剣道指導者研修会 申込書

令和3年 月 日

参加申込にあたり、主催者・施設管理者の定める新型コロナウイルス感染症防止策を遵守することを約束します。

【参加者】

※木銃の借用は、初心者教員に限らせていただきます。

フリガナ 氏名	称号 段位	年齢	性別	自宅住所	
			男	〒	
	段	歳	女		
メールアドレス			携帯電話		自宅TEL
@					
職業	所属団体名 (教員は学校名・教科を記入のこと)	勤務先住所			所属団体からの交通費補助
		〒			有 ・ 無
日本武道館からの 派遣依頼状	所属長(学校長など)の役職・氏名	勤務先TEL	勤務先FAX	木銃の借用希望	
要 ・ 不要				有 ・ 無	

【推薦者】

上記の者を研修会参加者として推薦いたします。

団体名： _____ 役職名： _____ 氏名： _____ (印)

◇本書面にて取得した個人情報は、本事業及び公益財団法人日本武道館主催武道行事に関する以外には利用いたしません。

また、本書面を提出いただいたことにより、本事業関係者(団体)への提供などの目的に利用されることをご本人が同意したものと取り扱います。

第8回全国銃剣道指導者研修会 新型コロナウイルス感染症対策について

公益財団法人日本武道館では、新型コロナウイルス感染症対策として、以下の通り対応いたします。

1 研修会等当日

- (1) 講師・参加者・運営事務局は、マスクの着用を徹底する。
- (2) 会場にアルコール等の手指消毒剤等を準備する。
- (3) 人と人との間隔を空け（できるだけ2mを目安に（最低1m））、講義・実技を実施する。
- (4) 研修会等の実施期間中は、大きな声で会話をしないようにする。

2 以下の項目に該当する講師・参加者・運営事務局は、参加を見合わせる。

- (1) 体調がすぐれない（せき、のどの痛み、平熱を超える発熱など）。
- (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
- (3) 研修会等の初日から過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。

3 平熱の確認・連絡

- (1) 各自、平熱を確認しておくこと。特に平熱が高い（37度以上）、低い（35.5度以下）などの場合には、申込書に記入の上、あらかじめ運営事務局に連絡をすること。
※体温には個人差があり、年齢や測定の状態（運動、時間、気温、食事、睡眠、女性の性周期、感情など）によって変動するため、1日の4つの時間帯（起床時、午前、午後、夜）ごとの平熱を確認しておくこと。また、検温は、体調の良いときに1日だけでなく、日をあけて何日間か、食前や食間（食後すぐを避ける）に行うと良い。

4 研修会終了後

- (1) 講師・参加者・運営事務局の中で、研修会終了後、2週間以内に新型コロナウイルスを発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

5 その他

- (1) 感染防止のために主催者、施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従うこと。
- (2) 全日本銃剣道連盟が定める感染防止対策を遵守すること。
- (3) 研修会期間中に、万一、発熱や呼吸困難、けん怠感等、感染の疑われる者がいる場合、予備部屋で隔離する。かかりつけ医または発熱相談コールセンター（0570-200-139）に連絡し、その後は指示に従う。

以上

※上記の内容は、今後の状況により、逐次内容を見直す場合があります。

※後日、講師・参加者各位には、新型コロナウイルス感染症対策遵守事項他、関係書類をご送付いたします。